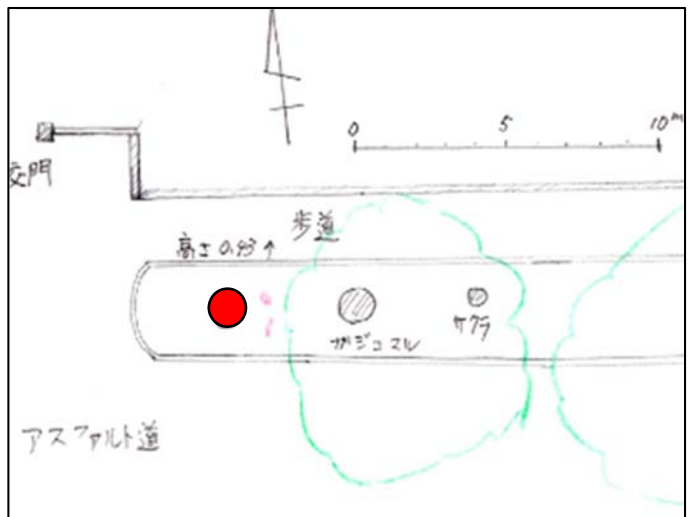


ガジュマル(東)



認定番号 15-1

樹種名	ガジュマル	科名	クワ科	方言名	ガジュマル	学名	Ficus microcarpa L.f.					
形状・寸法	樹高 9.8 m	胸高周囲 2.8 m	根本周囲 3.9 m	樹幹占有面積 62 m ²								
	枝下高 1.7 m	枝張 東 3.8 m 西 5.6 m	南 4.4 m 北 4 m	最大樹冠幅 9.4 m								
通称	樹齢 300 年以上			所有者	1 国 2 県 3 市町村 4 その他公有 5 社寺 6 個人 7 会社 8 その他民有 9 不明 備考: 平安座自治会所有							
所在地	北谷町吉原			立地場所	1 公園 2 庭園 3 個人の庭・屋敷 4 公共施設 5 学校 6 神社寺院 7 拝所 8 市街地 9 街路 10 その他							
保護制度	1 国指定天然記念物 2 県指定天然記念物 3 市町村指定天然記念物 4 景観重要樹木 5 保存樹 6 名木 7 その他 8 なし				状況	1 単木 2 樹叢中 3 樹林中 4 その他						
周囲の状況	1 樹林 a 大面積山林 b 小面積山林 2 芝地 3 耕地 4 建物の間 5 道路 6 河川 7 湖沼 8 その他 ()			気象条件		月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	土地傾斜	1 平坦(0~5°) 2 緩(5~15°) 3 中(15~30°) 4 急(30~45°) 傾斜方向:			平均気温(°C)	16.8	17.9	18.4	20.9	23.6	26.9	
土壌		1 堆積土 2 切り土 3 盛土 4 客土 5 その他 ()			(最寄りの7マス*1カ)	降水量(mm)	36.5	55	51.5	36.5	66.5	117.5
	基岩・母材	1 山地 2 丘陵地 3 台地 4 平地 5 尾根 6 中腹 7 谷 8 窪:窪: 9 カスト 10 埋め立て地 11 海岸段丘 12 その他				平均風速	5.0	5.4	5.6	5.1	4.9	5.1
地形		1 砂壤土: 大部分が砂で僅かに粘土を感じる 2 壤土: 砂と粘土が半々 3 埴壤土: 大部分粘土で僅かに砂を感じる 4 埴土: ほとんど砂を感じない			地点: 那覇	風向	NNW	N	SW	ESE	S	SSW
	土性	1 堆積土 2 切り土 3 盛土 4 客土 5 その他 ()				2014年	平均気温(°C)	29.3	28.7	28.8	25.4	22.6
根元及び周囲の植生		1 堆積土 2 切り土 3 盛土 4 客土 5 その他 ()			潮風の影響	降水量(mm)	212.0	70.5	36.5	252	30	34.5
	管理状況	1 堆積土 2 切り土 3 盛土 4 客土 5 その他 ()				年平均気温	23.1 °C		最高気温 33.9 °C			
過去の治療歴と内容		1 堆積土 2 切り土 3 盛土 4 客土 5 その他 ()			日照条件	年降水量	2584.5 mm		最低気温 10.6 °C			
	故事来歴	1 堆積土 2 切り土 3 盛土 4 客土 5 その他 ()				周辺樹木の影響	1 なし 2 ややある 3 ある 4 やや強く受ける 5 強く受ける(特記)					
視認性		1 堆積土 2 切り土 3 盛土 4 客土 5 その他 ()			周辺樹木の状況	1 良好 2 普通 3 やや不良 4 不良						
	特記事項	1 堆積土 2 切り土 3 盛土 4 客土 5 その他 ()			周辺樹木との関係	1 なし 2 わずかにある 3 ある 4 かなりある 5 深刻((状況))						

管理状況	1 柵 a 有 b 無 (有の場合の高さ m、材質() 柵内面積 (m ²) 設置年 2 支柱 a 有 b 無 3 剪定 a 強 b 弱 c 無 d 枝折等の都度処理 4 施肥 a 有 b 無 (有の場合 回数 種類) 5 薬剤散布 a 有 b 無 (有の場合 回数 種類) 6 解説板 a 有 b 無 7 避雷針 a 有 b 無 8 定期的な草刈・掃除 a 有 b 無 9 その他										
過去の治療歴と内容											
故事来歴	1 無 2 信仰対象 3 禁忌(タブー) 4 祭事 a 有 b 無 5 いわれの内容 6 不明										
視認性	1 遠方からも目立つ 2 近くに行けば見える 3 直前まで見えない 4 敷地内にはいるとよく見える 5 敷地内に入っても見えない (理由)										
特記事項	1 動物生息 a 有 b 無 (有の場合動物の種類) 2 着生植物 a 有 b 無 (有の場合植物の種類 オオイシ、オオタワウ、クヌシイモ、ヘクカスラ) 3 見学・参観者 a 有 b 無 (有の場合その数) 4 その他 生徒・父兄等										

地上部の衰退度判定（認定番号15-1）

評価項目	評価基準				
	0	1	2	3	4
1 樹勢	旺盛な生育状況を示し被害が全く見えない	幾分影響を受けているが、あまり目立たない	異常が明らかに認められる	生育状況が極めて劣悪である	殆ど枯死
2 樹形	自然樹形を保っている	若干の乱れはあるが、自然樹形に近い	自然樹形の崩壊がかなり進んでいる	自然樹形がほぼ崩壊し、奇形化している	ほとんど完全に崩壊
3 枝の伸長量	正常	幾分少ないが、目立たない	枝は短くなり、細い	枝は極度の短小、ショウガ状の節間がある	下からの萌芽枝のみ僅かに生長
4 梢や上枝の先端の枯損	なし	少しあるが目立たない	かなり多い	著しく多い	梢端がない
5 下枝の先端の枯損	なし	少しあるが目立たない	かなり多い、切断が目立つ	著しく多い、大きな切断がある	ほとんど健全な枝端がない
6 大枝・幹の損傷	なし	少しあるが回復している	かなり目立つ	著しく目立つ大きく切断されている	大枝・幹の上半分がかけている
7 枝葉の密度	枝と葉の密度のバランスが取れている	0に比べてやや劣る	やや疎	枯死が多く葉の発生が少なく、著しく疎	ほとんど枝葉がない
8 葉の大きさ	葉が全て十分な大きさ	所々に小さい葉がある	完全にやや小さい	全体に著しく小さい	僅かな葉しかなく、それも小さい
9 樹皮の傷	傷はほとんどなし	穿孔・傷が少しあるがあまり目立たない	古傷がある	傷からの腐朽が著しい	大きな空洞、剥がれがある
10 樹皮の新陳代謝	樹皮は新鮮な色をしていて新陳代謝が活発	普通	樹皮に活力がない	著しく活力がない	樹皮の大部分が枯死
11 胴吹き・ひこばえ	枝は量が多く胴吹きひこばえもない	枝葉量が多いが胴吹き又はひこばえもある	枝葉量が少なく胴吹き、ひこばえがある	枝葉量が極めて少なく、胴吹きひこばえが多い	枝葉量が極めて少なく胴吹き、ひこばえも少ない

衰退度 = 各項目の評価値の合計 / 11 (評価項目) = 0.73

衰退度判定基準

衰退度区分	I	II	III	IV	V
		0.8未満 良	0.8~1.6未満 やや不良	1.6~2.4未満 不良	2.4~3.2未満 著しく不良

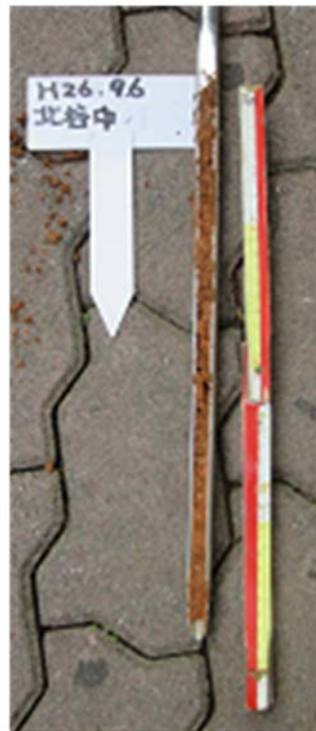
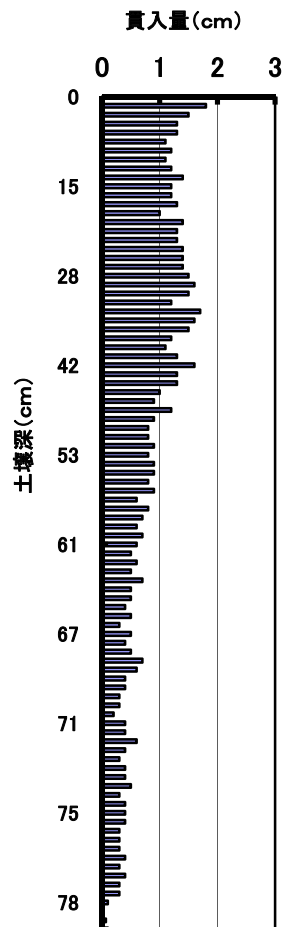
倒木・枝折れ等危険度判定

項目	判定			
	安全	可能性あり	可能性高い	明らかに危険
通行者・建物等との位置関係	○			
根返り	○			
幹折れ	○			
大枝折れ	○			
中・小枝落下	○			
幹の傾斜の増大	○			
その他()				

土壤調査結果（認定番号 15-1）

層位	土壤色	深さ	構造	土性	pH	EC(dS/m)
I	5YR3/6	0-10	—	埴壤土	7.9	1.0
II	5YR3/6	10-26	—	埴壤土		
III	5YR4/6	26-30	—	埴壤土		

土壤貫入量結果



認定番号 15-1

ガジュマル(東)

部位	所見	対応
土壌	・土壌の流亡が見られる。	・同質の土で客土を行うのが望ましい。
根	・露出根が多く、踏み付けによる樹皮の損傷がある。	・立入禁止を検討する。
幹	・樹皮の古傷が多く、活力の低下が見られる。 ・中心の材部は枯死している。 ・北面の樹皮が欠損(縦 60 cm、横 40 cm)している。 ・イチジクカミキリの脱出孔が多く見られる。 ・大枝が切り詰められており、樹形としては安定している。	・活力のある気根の発生・成長を促すため、施肥を検討する。
枝	・北側高さ 6m の枝の分岐部の損傷が大きく(特に下側)、落枝の可能性が高いと思われる。	・切除を検討する。
葉	・小型化している。	・施肥を検討する。
備考	・気根は切らないで、支柱根に誘導するのが。	

